
ぼくと悪魔の復讐劇

昴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぼくと悪魔の復讐劇

【Nコード】

N5671R

【作者名】

昴

【あらすじ】

ぼくはいつものようにいじめられていた
そしていつものように呟いた
だけど本がいつもを変えた…

本（前書き）

ども昂です

間違いとかあったらどんどん行ってください！！

あと感想もお願いします！！

本

この学校の人なんかみんな死ねばいいんだ！

ぼくは、いつものように校舎裏の物置でつぶやいていた。

まさかあんな事になるなんて・・・

「おい橘お前^{たちばな}今日おれの前でいきしただろ？」

少し大柄な男が橘と呼ばれる男を投げ飛ばす。

「うあ！ 痛いよ やめてよ！ ぼくが何したんだよ」

「ああん？ なにしたかった？ この俺に息吹きかけたじゃねえか！」

大柄の男が怒鳴る

「ごめんよ、でも息しなきゃ死んじゃうよ」

「じゃあ死ねよ！！」

ドフ バシ ドン 鈍い音が響く

「うああ！ 痛いやめてよ」

橘が叫ぶ

「うるせえ！ 死ね」

「もうそこらへんにしとけよ！ 大木」

ルックスのいい男が言う

「なんだよ止めんなよ鈴木！ しらけんだろ！」

「まあいいじゃねえか。それより遊び行こうぜ！」

「ああ。今度おれの前で息したらマジ殺すぞ！」

二人は去っていく

「うっ！ うっ！ なんで僕ばかり」

橘は泣きながらちらつばった荷物を拾う

「なんだ橘またいじめられたのか？お前はほんとに弱いな」

「本田先生ぼくを助けてよ！」

「いやだよ！生徒を助けるのは先生の仕事じゃないし、おれ弱い奴が嫌いなんだよ！」

本田は笑いながら去っていく

（この学校の人間はみんなクズだ！この学校の人なんかみんな死ねばいいんだ・・・）

「彼女以外は」

そう呟きながら橘は図書室へむかった

ガラガラ

「ああ！結城君またいじめられて！」

いかにも図書委員ぽい感じの女の子が言う

「ごめん」

「ケガないの？」

「うん」

「もつと立ち向かわなきゃだめだよ！」

「でも愛子ちゃんどうして図書委員でもないのにいつもここにいるの？」

「本が好きだから。そんなのいいから帰ろ！」

愛子のかばんを持つ

「うん・・・なんだこの本？」

橘は本を手にとる

「え？なにになにえーと・・・復讐の仕方の本？なんか不気味。」

「どんな本なんだろ？」

「そんな本まえからあったかな？怖いから帰ろ」

愛子は橘の手を引っ張る

「ああちよつと待って」

本が落ちる

「夕日がきれいね？」

「うん」

「どうしたの？元氣ないよ」

「愛子ちゃんありがと！いつも励ましてくれて」

「べつにいいよ幼馴染みじゃん」

「うん」

「いこ！」

次の日

「おい橘てめえわころす！！」

校舎裏の物置で大木が叫ぶ

「なんでだよ？息止めたよ」

「そんなんじゃないやねえ！！なんでてめえが愛子ちゃんとラブコメしてんだよ！！」

「仕方ないだろ幼馴染みなんだから」

「お前が死ねばすむんだよ」

ドフ ドン バシ 鈍い音が30分間続く

「ハアハア、今日はこのくらいにしといてやる」

「し、死ぬ…」

荷物をまとめる

「あれこの本落としたはず…」

復讐の仕方の本があった

「何々まず願いを言う。そして実行してもらおう？まあいいや」

この学校の人なんかみんな死ねばいいんだ！

グワワァア何か黒いものが出てきた

「あ、悪魔？」

「ぐへへお前の願いお前の命と引き換えだ！」

「え？」

「この学校の人間を殺すのさ」

悪魔が不気味に笑う

ガラガラ物置のドアが開く

「ここにいた・・なにこれ!!」

「愛子ちゃん！」

「依頼を実行」

悪魔が愛子に近づく

「キヤアアア！」

「あ、愛子ちゃん？」

愛子の首が物置の落ちた……………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5671r/>

ぼくと悪魔の復讐劇

2011年10月7日17時22分発行